

決算説明会



株式会社 帝国電機製作所

平成25年5月23日

(東証1部・大証1部 6333)

<http://www.teikokudenki.co.jp/>

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみを全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願いいたします。



株式会社 帝国電機製作所

当社の現状と今後の展望

代表取締役社長 宮地國雄

平成25年3月期の概況

百万円	平成24年3月期			平成25年3月期		
	計画(1)	金額	伸率	計画	金額	伸率
売上高	17,364	17,765	9.3	19,188	19,933	12.2
営業利益	1,994	2,130	29.5	2,253	2,153	1.1
経常利益	1,996	2,130	39.9	2,304	2,651	24.5
当期純利益	1,240	1,239	60.1	1,513	1,820	46.9
1株当り当期純利益	134円81銭	134円74銭	-	166円43銭	200円17銭	-

(1) 平成23年8月10日発表の修正計画

- 増収増益。
- 売上：欧米や中国などの海外市場は好調に推移した。国内市場では一部に復興需要が見られるものの、依然として回復が遅れており低調であったが、海外売上の牽引により、過去最高の売り上げを更新。
- 利益：セールスマックスの変化により粗利率は若干下がったものの、昨年末からの円安の進行による為替差益の発生などにより、全ての利益で過去最高を更新。

受注・受注残の状況

百万円	24年3月期		25年3月期			
	受注高	受注残	受注高	増減率	受注残	増減率
ポンプ事業	16,839	6,114	15,546	-7.7%	4,695	-23.2%
電子部品事業	2,424	207	2,454	1.2%	195	-5.8%
その他	526	204	437	-17.0%	140	-31.5%
合計	19,790	6,526	18,438	-6.8%	5,031	-22.9%











• ポンプ事業

- 国内外ともに企業の設備投資は依然として本格回復しておらず、厳しい受注環境下にある。
- 中国においても、欧州の財政危機再燃に伴う輸出の落ち込みによる景気減速等により、厳しい受注環境となっているが、ケミカル用ポンプは底堅く推移し、車両用ポンプ、空調機向けポンプ及び部品・修理といったメンテナンスも堅調である。

• 電子部品事業

- 自動車用電装品は、国内では震災からの復興需要や北米等での生産拡大に伴い、比較的堅調な推移となっていたが、新興国の景気減速などにより不透明感も広がりつつある。

事業の動向

事業区分	主要製品など		今後の予想
ポンプ事業	ケミカル用	ケミカル機器用	
		LPG機器用	
		冷凍機・空調機器用	
	ケミカル以外用	半導体機器用	
		電力関連機器用	
		定量注入機器	
電子部品事業	自動車用電装品		
その他	特殊機器	電磁石	
		昇降機	
	健康食品		

今期業績見通し

【通期予想】

百万円 伸率%	25年3月期(実績)		26年3月期(予想)	
	金額	伸率	金額	伸率
売上高	19,933	12.2	18,867	-5.3
営業利益	2,153	1.1	2,063	-4.2
経常利益	2,651	24.5	2,120	-20.0
当期純利益	1,820	46.9	1,391	-23.5
1株当り当期純利益	200円17銭		153円5銭	

上記の予想数値は、本資料の作成日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績等は、経済情勢の変化等の不確定要因により、記載の数値と大幅に異なる可能性があります。

今期業績見通しのポイント

・ ポンプ事業

- 内需については、昨年末に発足した新政権による経済政策への期待感から、円高の是正や株価の回復等明るい材料もみられるようになっているものの、企業の設備投資が本格的に動き出すにはまだ時間がかかり、厳しい受注環境が続くものと見込まれる。
- 外需については北米や中国を牽引役にそれに加えてBRICs等でのインフラ整備に関わる需要（高速鉄道、原発、電力網の整備、ビル建設等）に期待。
- 超大型キャンドモータポンプの受注活動本格化。
（中国でのPM2.5対策としての脱硫プロセスや、米国でのシェールガスを材料としたエチレン精製プロセスにも使用可能なため、積極的な営業活動を推進する）
- 調達先の海外調達の拡充を含む多様化・まとめ発注や設計・生産の効率化により原価低減を行う。

・ 電子部品事業

- 自動車用電装品は、国内では震災からの復興需要や北米等での生産拡大に伴い、比較的堅調な推移となっていたが、新興国の景気減速などにより不透明感も広がりつつある。

・ その他

- 企業の設備投資回復による昇降機等関連需要の増加に期待。

今後の成長戦略

海外事業の強化

• 北米(世界最大のケミカル産業があり、ケミカル用ポンプの最大マーケット)

石油化学業界の設備投資回復に加え、太陽光発電、バイオ燃料、原子力発電等の石油代替市場や高速鉄道建設に期待。長期的にはシェールガス革命に伴うエチレンプラントおよび下流品としての化学品基礎原料のプラントなどにも大きな期待が持てる。

- メカニカルシールポンプ市場への侵攻
- 超大型キャンドモータポンプの受注
- 冷凍設備用ポンプ・バイオ燃料市場でのマーケットシェア拡大
- 市場拡大のための代理店網の営業力強化及び直販体制の拡充
- TEXAS PROCESS EQUIPMENT社のキャンドモータポンプ修理サービス事業買収によるサービス体制の拡充

• 中国(近年、ケミカル産業が急成長している)

ケミカル用ポンプや車両用ポンプ、空調機向けポンプ等を中心に底堅い需要はあるものの、欧州財政危機等に伴う輸出の落ち込みによる景気減速が見られ、景気の先行きには不透明感が強まっており、今後の受注等の落ち込みが懸念される。

- 台湾市場及び中国市場での更なる収益基盤強化を目的とした組織再編(12年3月大連帝国による台湾帝国の子会社化)
- 超大型ポンプ市場への本格的参入を目的とした大型ポンプ工場建設(12年10月完成。設備を含む投資額2億83百万円)
- 新規市場・顧客の拡大を通じ、更なるシェア向上を図る。(10年電力関連機器モータポンプの現地生産・販売開始)
- サービス体制の拡充(09年2月設立の 無錫サービス会社及び09年6月設立の 済南サービス会社の隣接地への移転、13年4月台湾・高雄市に修理工場の新設)
- 営業力の強化(12年3月 天津市・雲南省昆明市、13年4月安徽省合肥市・陝西省西安市に営業所新設)

• その他

中東・インド等の市場をにらんでさらなる海外拠点をバーレーンに新設(12年12月)

中期的な経営戦略と目標

- **中期的な経営戦略**

- 連結経営強化の観点から子会社を含めた事業の効率向上と一層の連携強化に努める
- 完全無漏洩構造の「キャンドモータポンプ」事業をコアとし、技術開発型企業グループとして、「よりよい製品をより安く」「お客様に信頼される製品造り」「地球環境に優しい製品造り」をベースに事業領域を拡大
- 激変する事業環境に対処するため、また景気変動に強い体質づくりを目指し、成長を図る施策を展開

- **経営目標**

- 景気動向による売上高に左右されることなく、適正利益を生み出せる強靱な経営体質を目指す
 - 海外売上高比率55%以上(平成25年3月末62.0%)
 - 売上高経常利益率12%以上(平成25年3月末13.3%)

配当金の推移

	1株当たり中間配当	1株当たり期末配当	1株当たり年間配当
平成23年3月期	10円00銭	10円00銭	20円00銭
平成24年3月期	10円00銭	12円00銭	22円00銭
平成25年3月期	12円00銭	12円00銭 (予定)	24円00銭 (予定)
平成26年3月期	12円00銭 (予定)	12円00銭 (予定)	24円00銭 (予定)



株式会社 帝国電機製作所

決算説明

取締役総務本部長
中村嘉治

会社概要

プロフィール

商号	株式会社 帝国電機製作所	昭和 14 年 9 月	鉄道保安装置一式製作販売及び一般電気機械製作販売を主たる目的として、大阪市北区曾根崎新地に株式会社帝国電機製作所を設立
本社所在地	〒679-4395 兵庫県たつの市新宮町平野 60	昭和 19 年 2 月	業務の拡張と戦時疎開のために兵庫県揖保郡新宮町に新宮工場を竣工
敷地面積	42,023 m ²	昭和 35 年 4 月 平成 3 年 11 月	自社製品キャンドモータポンプ初号機完成 米国デラウェア州ドーバー市に子会社 TEIKOKU USA INC. を設立
設立年月	昭和 14 年 9 月	平成 6 年 12 月	中国遼寧省大連市に大連キャンドモータポンプ廠との合弁会社大連帝国キャンドモータポンプ有限公司を設立
資本金	2,116,823 千円(平成 25 年 3 月末)	平成 11 年 1 月 平成 11 年 3 月	台湾台北市に子会社台湾帝国ポンプ有限公司を設立 シンガポールに子会社 TEIKOKU SOUTH ASIA PTE LTD. を設立
発行済株式数	9,450 千株	平成 11 年 5 月 平成 13 年 11 月 平成 14 年 8 月	大阪証券取引所市場第二部に上場 大連帝国キャンドモータポンプ有限公司を完全子会社化 ドイツ デュセルドルフ市に TEIKOKU ELECTRIC GmbH を設立
業種	電気機械器具の製造販売	平成 15 年 2 月	子会社 TEIKOKU USA INC. がアメリカのケミポンプ事業部(キャンドモータポンプ発祥会社)買収
決算期	3 月 31 日(年 1 回)	平成 17 年 2 月	東京証券取引所市場第二部に上場
従業員数	1,218 人(連結)、329 人(単体) (平成 25 年 3 月末)	平成 17 年 10 月	子会社 TEIKOKU KOREA CO., LTD を設立
事業所数	2 工場、5 営業所、3 出張所、1 駐在員事務所	平成 18 年 9 月 平成 19 年 2 月 平成 20 年 10 月 平成 21 年 2 月	東京証券取引所市場第一部に上場 大阪証券取引所市場第一部に上場 帝国電機技術開発センター及び上月電装新工場竣工 大連帝国キャンドモータポンプ有限公司工場増設 江蘇省無錫市に無錫大帝キャンドモータポンプ修理有限公司設立
連結	子会社 13 社 (国内 5、海外 8)	平成 21 年 6 月	山東省済南市に済南大帝キャンドモータポンプ修理有限公司設立
社是		平成 22 年 4 月	平福電機新工場竣工
みんなで良くなる		平成 22 年 5 月	TEIKOKU USA INC. が TEXAS PROCESS EQUIPMENT COMPANY 社のキャンドモータポンプ修理サービス事業を取得
誠実に事に当たろう		平成 24 年 3 月	大連帝国キャンドモータポンプ有限公司が台湾帝国ポンプ有限公司を子会社化(当社の孫会社化)
積極的にやろう		平成 24 年 12 月	バーレーン駐在員事務所設立

平成25年3月期 連結損益計算書の概要

単位 百万円	連結	前年同期比 %
売上高	19,933	+12.2
売上原価	12,765	+15.3
売上総利益	7,167	+7.1
販売費・一般管理費	5,014	+9.9
営業利益	2,153	+1.1
営業外損益	497	
経常利益	2,651	+24.5
特別損益	107	
税引前利益	2,759	+32.9
法人税等	938	
当期純利益	1,820	+46.9

[期末評価為替: 1US\$ = 86.56円、1元 = 13.89円、1EUR = 114.67円、1KRW = 0.08円]

四半期推移

百万円	平成24年3月				平成25年3月			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高	4,313	4,594	4,239	4,616	4,423	4,711	4,320	6,476
営業利益	618	583	514	414	417	604	438	693
経常利益	620	426	535	547	351	596	767	936
当期純利益	293	254	328	362	140	445	557	676
1株当り当期純利益	31円42銭	27円85銭	35円87銭	39円60銭	15円41銭	49円2銭	61円29銭	74円45銭

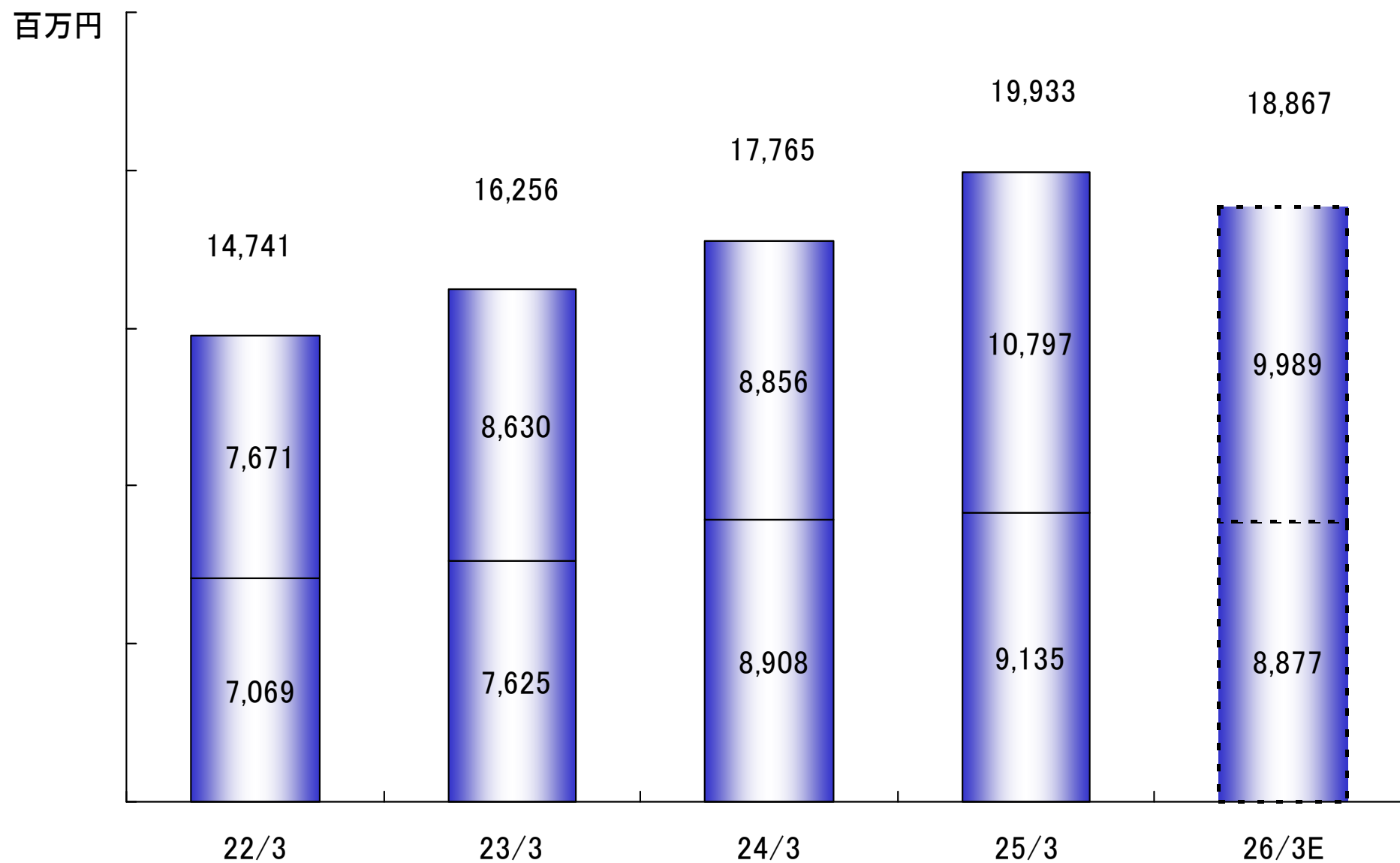
- ・平成25年3月期は、北米・中国を中心に海外売上が堅調に推移した。また第4四半期では、為替の影響により、売上等が大きく伸長した。

今期計画

単位 百万円	通期	前期比 増減%
売上高	18,867	▲5.3
売上原価	11,629	▲8.9
売上総利益	7,237	+1.0
販売費・一般管理費	5,174	+3.2
営業利益	2,063	▲4.2
経常利益	2,120	▲20.0
当期純利益	1,391	▲23.5

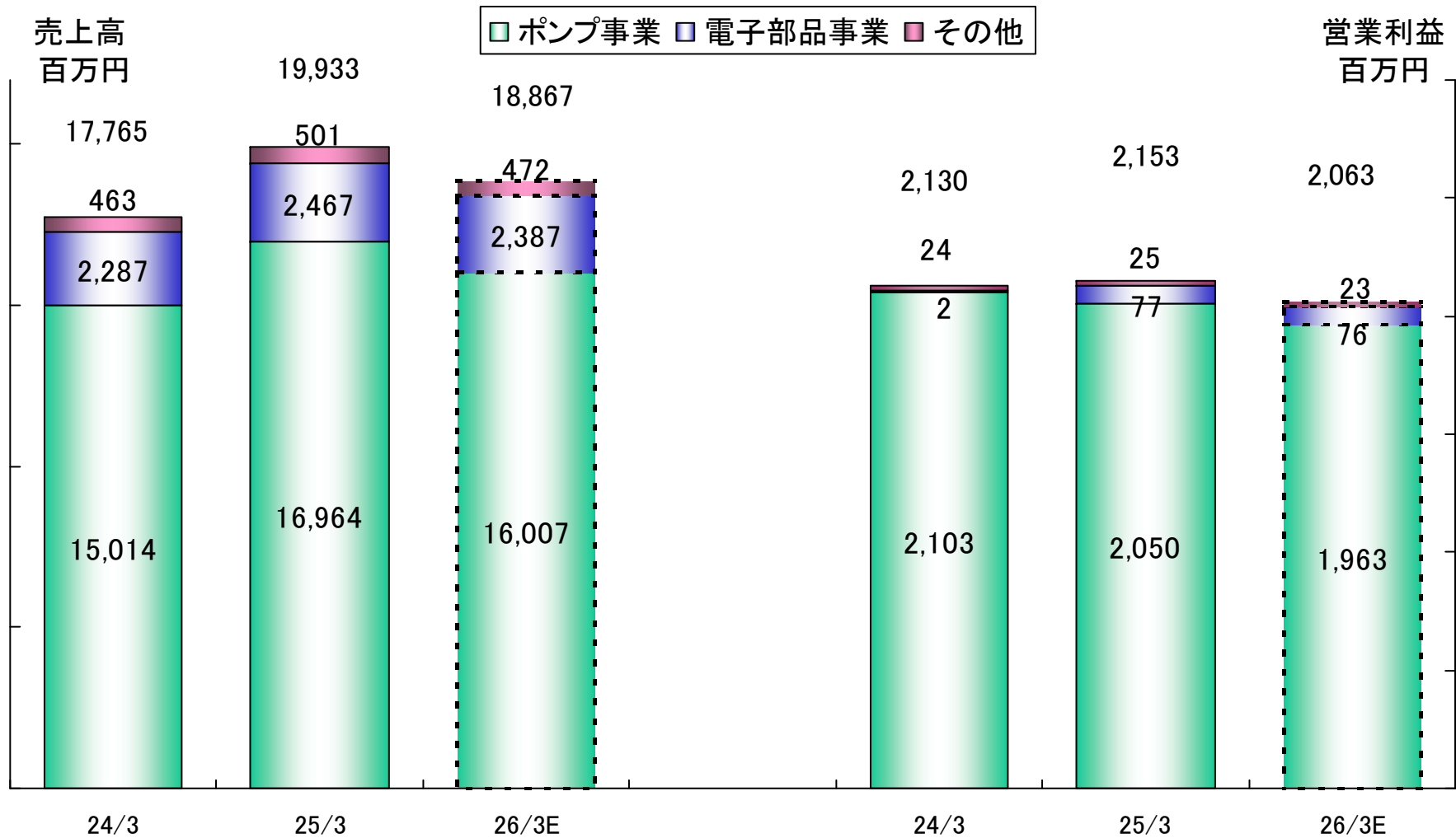
[計画為替レート：1US\$=95.0円、1元=15.0円、1EUR=120.0円、1KRW=0.08円]

売上高の推移

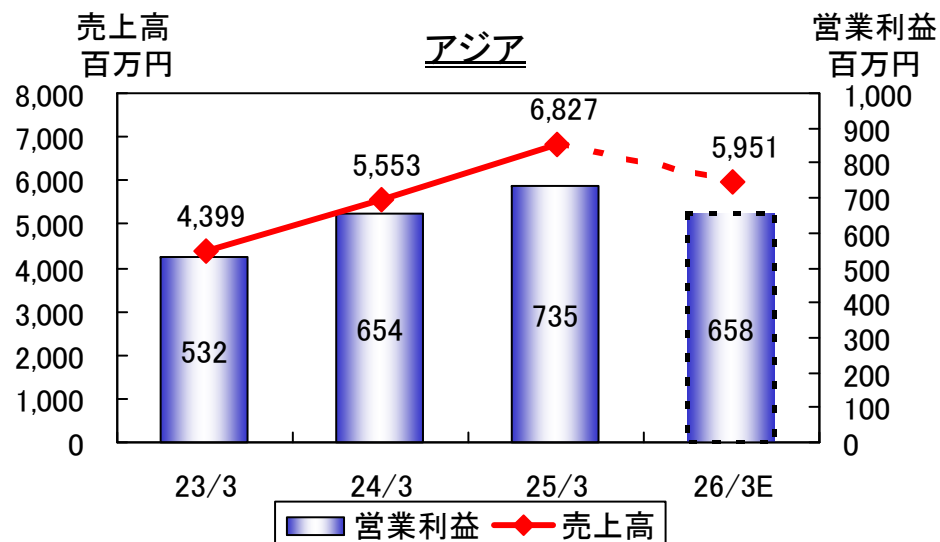
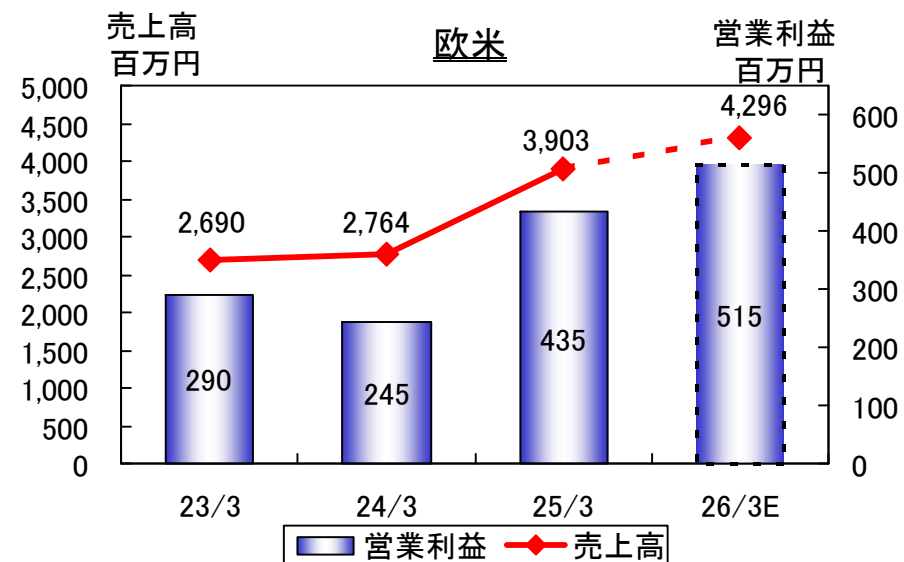
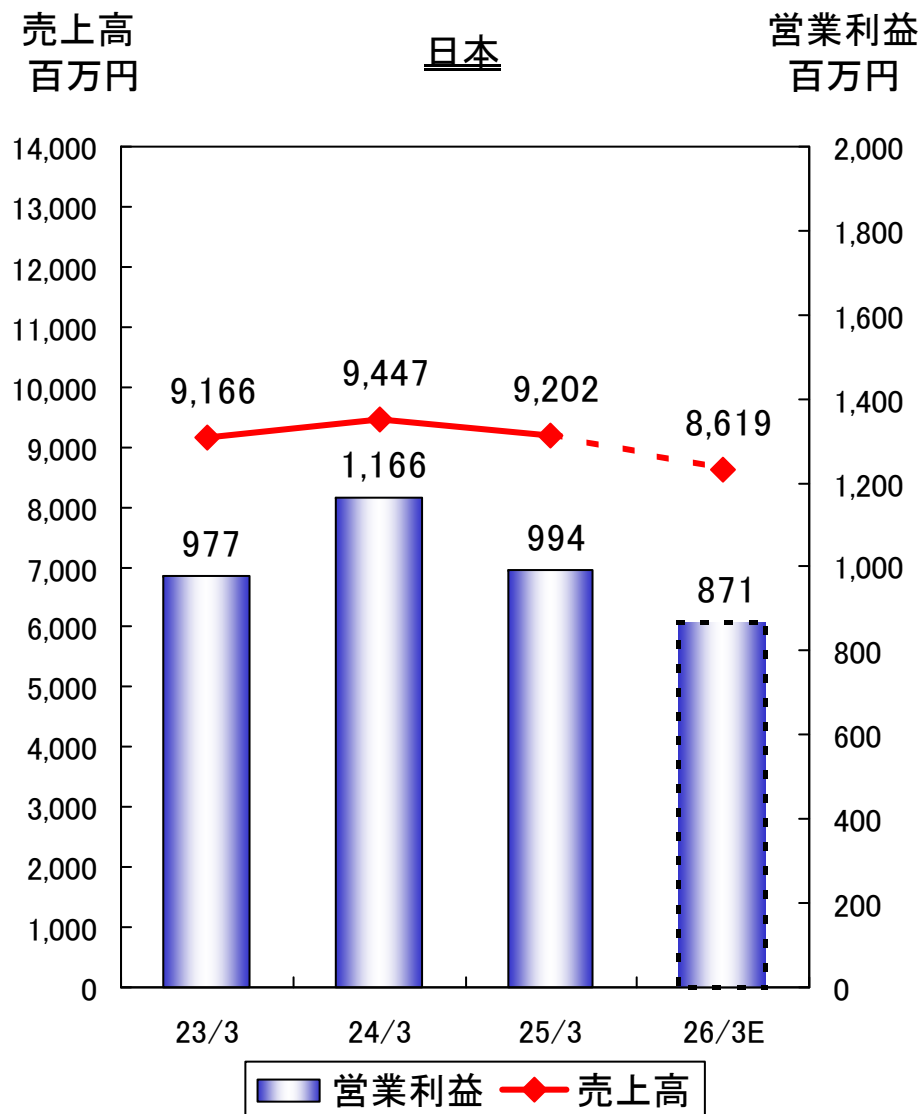


注) 予想数字は要注意事項ですので、取り扱いには十分ご注意ください

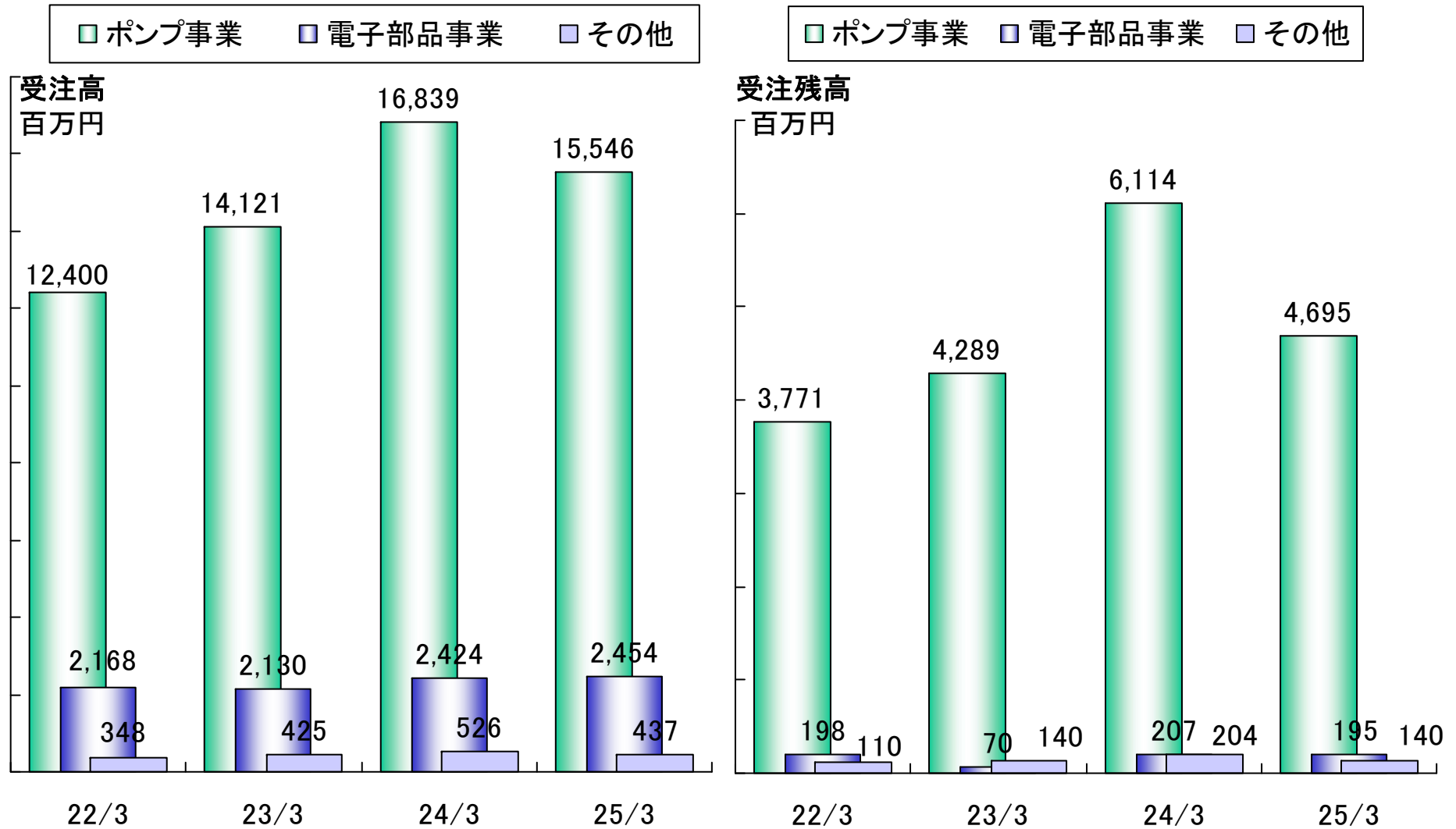
事業の種類別セグメント



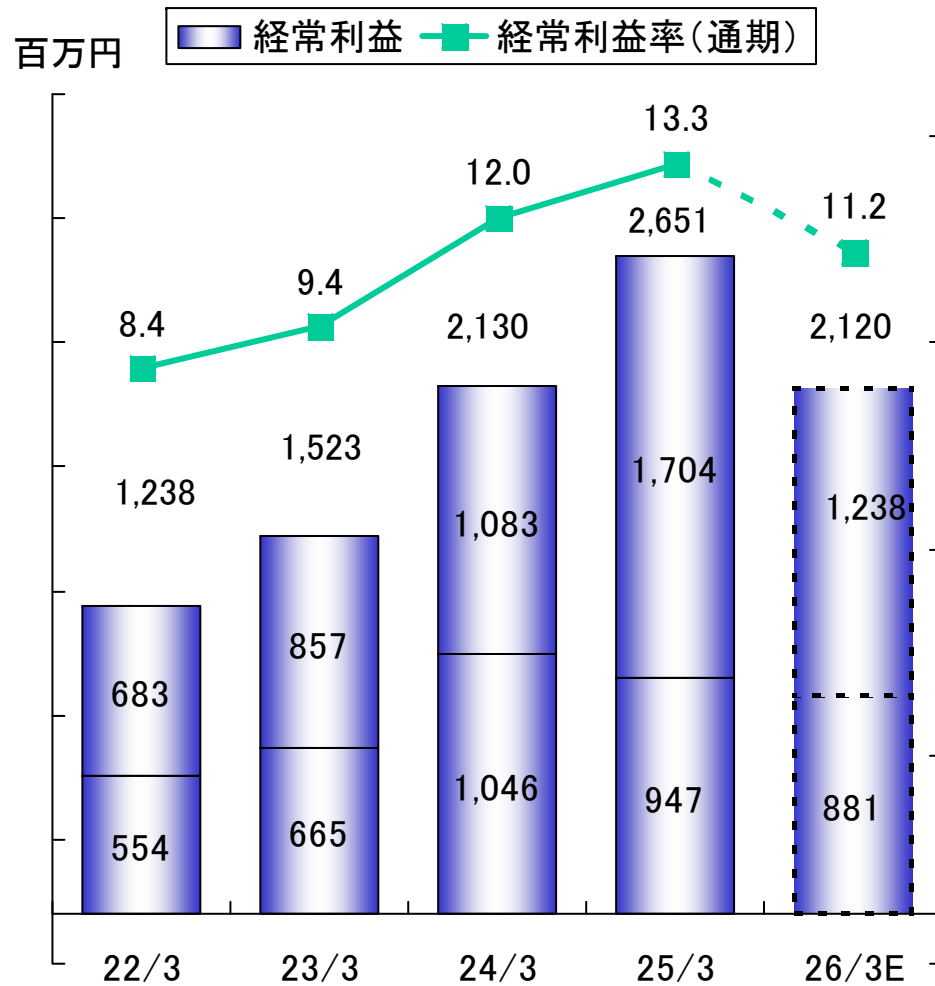
所在地別セグメント



事業の種類別受注と受注残高



経常利益



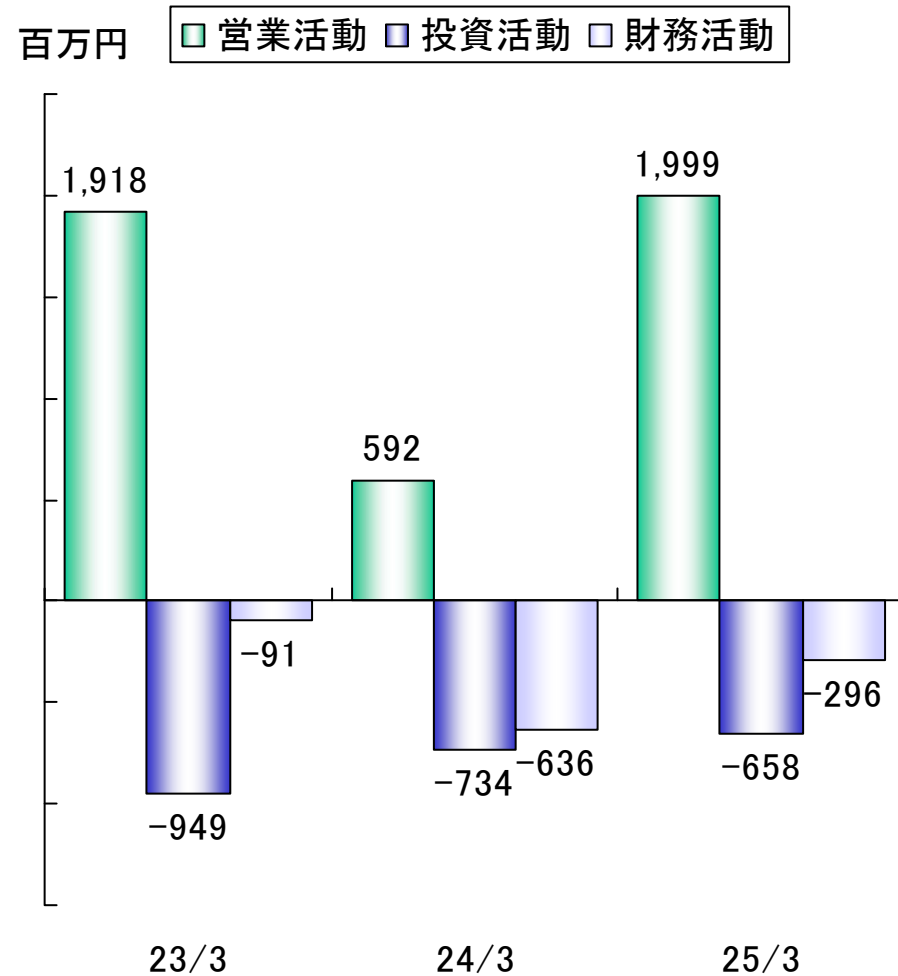
増減要因(前期比)

経常利益	+521百万円
販管費	+453百万円
(うち人件費)	+224百万円)
営業外収益	+392百万円
営業外費用	▲105百万円
親会社	+443百万円
国内子会社	▲93百万円
海外子会社	+339百万円

平成25年3月期 連結貸借対照表の概要

単位 百万円	連結	前期末 増減		連結	前期末 増減
流動資産	14,980	2,113	流動負債	5,230	382
現預金	4,058	1,343	支払手形・買掛金	1,962	▲77
受取手形・売掛金	6,880	958	短期借入金	680	39
製品	932	▲30	その他	2,587	421
仕掛品	1,737	▲209			
原材料及び貯蔵品	999	125	固定負債	1,529	69
その他	371	▲73	その他	1,529	69
固定資産	7,567	301			
有形固定資産	5,724	195	純資産	15,787	1,963
無形固定資産	469	▲40	株主資本	15,762	1,601
投資その他の資産	1,373	145	その他の包括利益累計額	25	361
資産合計	22,548	2,415	負債純資産合計	22,548	2,415

キャッシュフローと設備投資



設備投資(取得ベース)

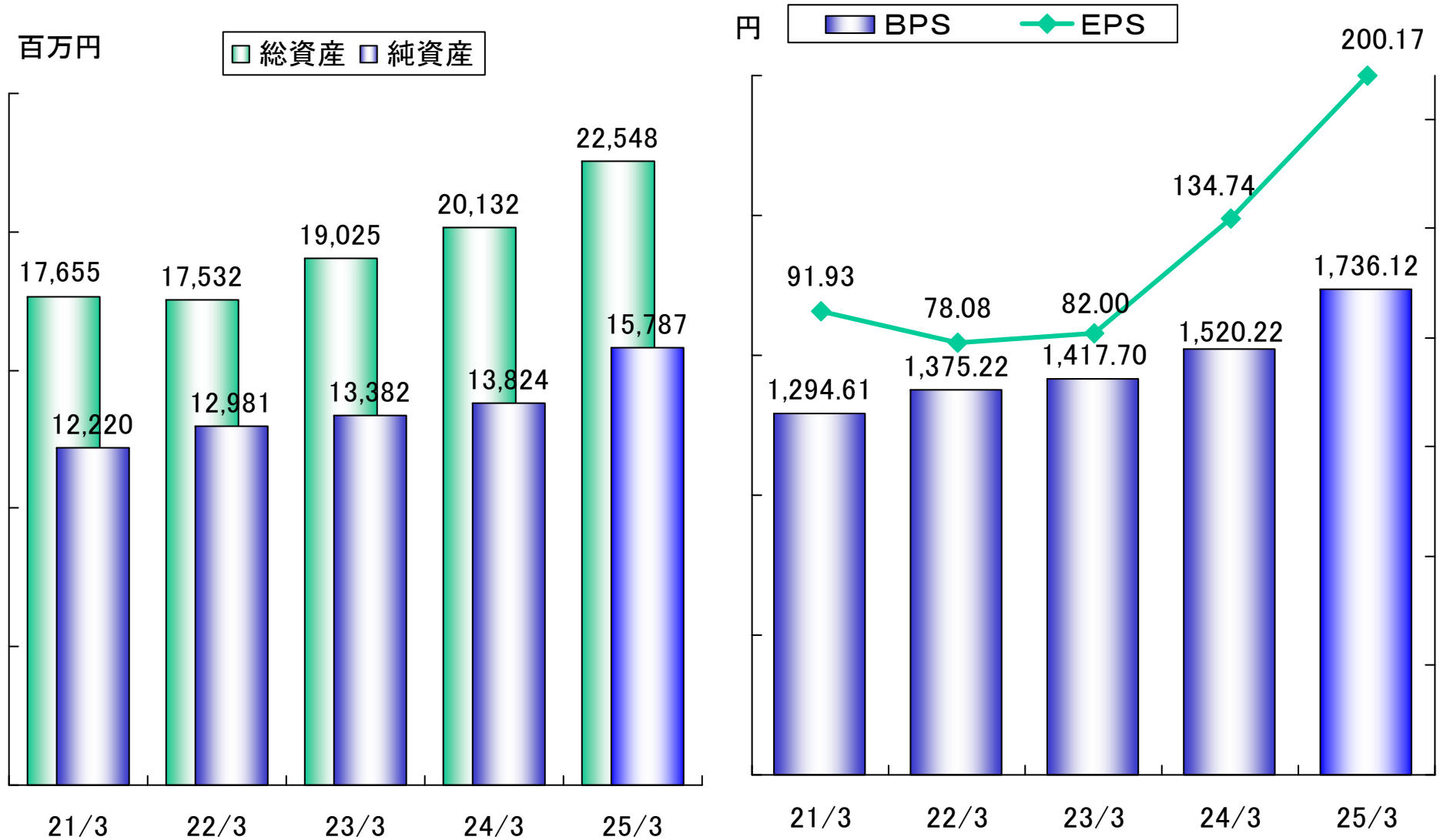
実績

親会社	211百万円
子会社	401百万円
合計	613百万円

計画(通期)

親会社	683百万円
子会社	308百万円
合計	992百万円

総資産、純資産、BPS、EPS



株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所



株式会社 帝国電機製作所

株式会社 TEIKOKU 機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所

株式会社 帝国電機製作所